



生徒良し・町民良し・社会良し を目指す!!
人情田舎体験
広島県 安芸太田町

安芸太田町田舎体験推進協議会

〒731-3664 広島県山県郡安芸太田町上殿632-2
TEL : 0826-28-1800 FAX : 0826-28-1843
Mail : info@cs-akiota.or.jp

協議会概要

「西中国山地に抱かれた暮らし・交流・元気のまち」をスローガンに掲げる安芸太田町は、広島市中心部から1時間足らず、広島県の北西部に位置し、美しい山容を誇る西中国山地国定公園など豊かな自然環境に恵まれた地域です。国の特別名勝三段峡、県内最高峰の恐羅漢山、アーチ式ダムとして西日本一の高さ（156m）を誇る温井ダム、日本棚田百選に県内で唯一選ばれた井仁の棚田などの観光資源を有し、春は新緑、夏はキャンプ、秋は紅葉、冬はスキーと四季を通じて訪れる人が絶えない町です。

● 構成

町民・役場・地域商社あきおおた・商工会・漁業協同組合・森林組合・自治会・町内諸団体

● 受入体制

- 民泊受入生徒数：40名
【40名を超える場合は、北広島町・広島市佐伯区湯来町との共同受け入れ（最大180名）】
- 日帰り家業生活体験受入生徒数：80名
- 受入家庭数34軒（令和6年12月現在）
- 緊急体制は常駐2名のスタッフにて24時間体制
- 生徒情報は町内の病院・消防と共有
- 安全管理や危機管理の研修実施（1年に1回）



年に1度の危機管理研修

● 受入実績（日帰り体験も含む）・受入予約数

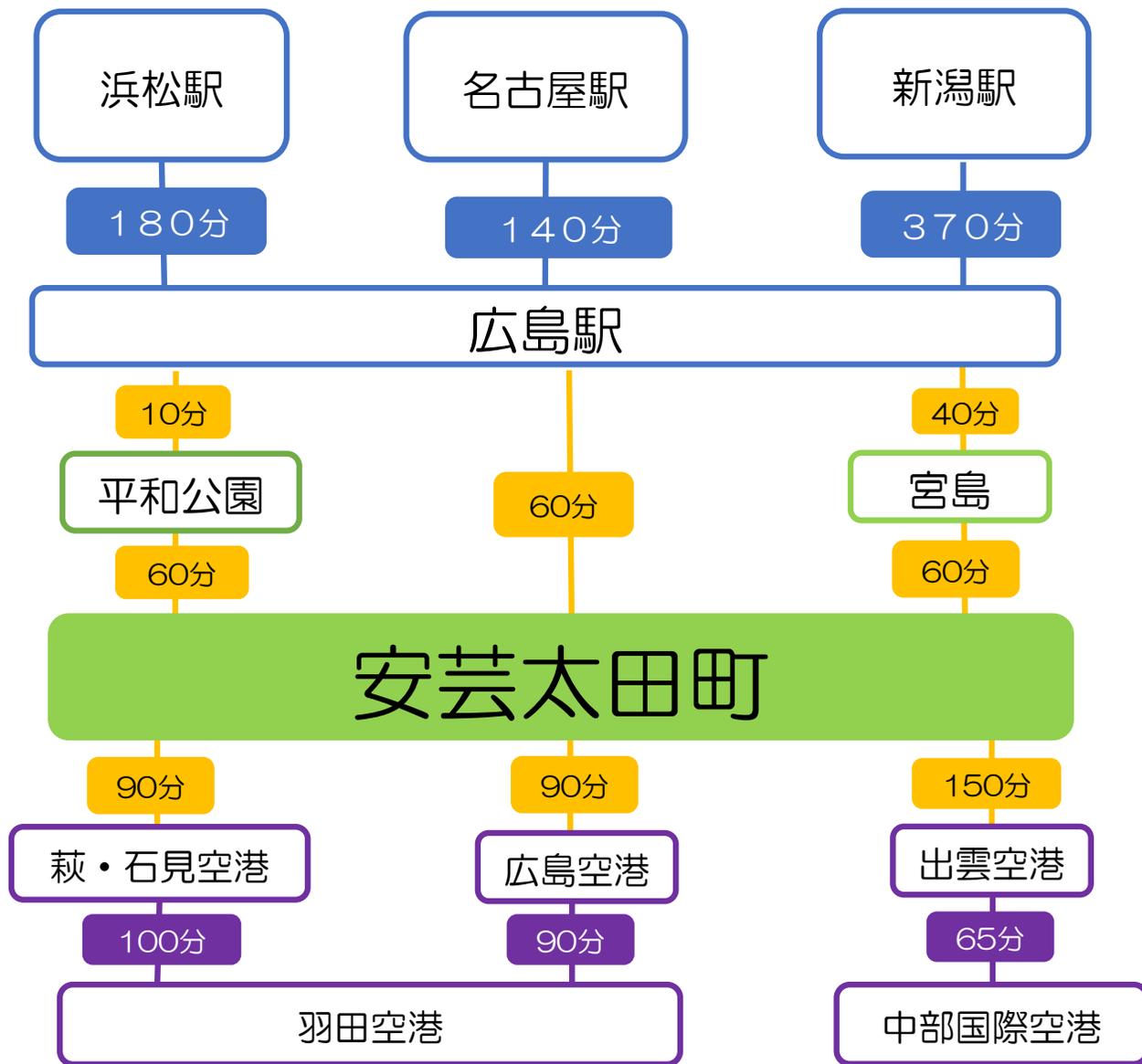
受入年度	国内受入	海外受入	受入者数
H25年度 ～令和5年度 累計	150校 関東41、中部8、北陸2、関西67 中国10、四国1、九州・沖縄21	28団体	14,728名
R6年度実績	18校 関東4、関西11、中部2 九州1	1団体	925名
R7年度予約	15校 関東7、関西8	0団体	882名

安芸太田町へのアクセス

広島市内中心部から約60分程度の好立地！！



広島県北西部に位置する
日本最南端の【豪雪地帯】
広島県唯一の山地率90%超の
圧倒的な山のまちです。



— バス移動 — 新幹線 — 飛行機

体験会場・宿泊施設



宿泊施設

①	グローバルリゾートNUKUI
②	いこいの村ひろしま (トレッキング体験会場：深入山)
③	グリーンスパつつが

体験会場

④	温井ダム湖 (カヌー・SUP)
⑤	川・森・文化・交流センター (柿渋染め体験等屋内体験)
⑥	龍頭峡 (トレッキング)
⑦	三段峡 (トレッキング)
⑧	恐羅漢 (ジップライン・スキー)

対面・お別れ式会場

⑨	安芸太田町役場本庁
⑩	太田川交流館かけはし
(⑤)	川・森・文化・交流センター

その他施設

⑪	道の駅来夢とごうち (事務局本部)
⑫	安芸太田病院 (24時間緊急対応)

民泊体験

「広島一人情にあふれる町」安芸太田町ならではの田舎暮らしを体験することで、人と人が歩み寄り、協力しながら人生を生きることの大切さや、豊かな自然を間近で感じ学ぶことができる教育旅行・修学旅行向けの体験プログラムです。

1. 安芸太田町に到着、対面式



受入家庭と初対面。
緊張感が漂います。

2. 共同調理、家族団らん



食事の準備を一緒
に行います。

3. 家業体験

家庭・季節ごとに
様々な体験があります。



こんにゃく作り



ねぎの収穫



まき割り

4. お別れ式



打ち解けた家族と
笑顔と涙のお別れ。

生徒さんの声

○ホテルじゃなくてよかった。 ○あんなおいしいご飯を食べたのは初めて。 ○また、安芸太田町に来たい！
○民泊家庭の方がとてもやさしく、話しやすかった。 ○本当の家族みたいだった。

黒部ダムに次いで、日本二番目の高さを誇るアーチ式ダム【温井(ぬくい)ダム】にある龍姫湖を特別に開放して実施するアクティビティ。ダム湖を囲む山々、鳥や鹿など野生動物の鳴き声など、豊かな自然を体感することができます。また、温井ダム資料館などの見学とも組み合わせ可能です。

●期待できる教育効果

【注意力・判断力】

インストラクターの指示や解説を受けながら仲間と協力して操作する体験を通して、自分で考え判断する力を養うことができます。

【自然の理解と感謝】

非解放区のダム湖での体験を通して、人の生活と自然との関わりを感じることができます。

【達成感】

メンバーが協力し合って成し遂げた時には気持ちも高揚します。

体験の流れ（共通）

0:00	更衣会場到着
0:30	更衣会場出発（トイレは済ませる）
0:40	温井ダム湖 到着
1:00	各体験スタート
↓	
2:15	各体験フィニッシュ
	各班で総括、バス乗車、移動
2:30	更衣会場到着
3:00	着替え終了

※体験後のシャワー設備はありません。

カヌー

2人1組で息を合わせて艇を漕ぎます。体験中は、インストラクターからはダム湖の歴史を学ぶこともできます。

- 定員● 最大40名
- 実施期間● 4月～11月
- 服装● 濡れてもよい服+靴
カップ(上下セパレートタイプ)
タオル・着替え

※ライフジャケットは用意します。

SUP

1人1艇で、乗り方から丁寧にインストラクターが指導します。静水域のため、波や流れは極めて緩く、初心者でも安心して体験できます。

- 定員● 最大30名
- 実施期間● 4月～11月
- 服装● 水着・濡れてもよい服+靴
(靴は、かかとのあるもの)
タオル・着替え

※ライフジャケットは用意します。

※水温の低い時期は、ドライスーツを用意します。

柿渋染め体験（雨天時）

安芸太田町は渋柿「祇園坊柿」の名産地です。本体験では、柿渋を染料として使用し、A4サイズのエコバックを染めます。

- 定員● 最大80名
- 実施期間● 常時
- 服装● 汚れてもよい服・タオル

※ラテックスアレルギー、フルーツアレルギーの方は、ウェット/ドライスーツが直接肌に触れないようラッシュガードなどの持参・着用をお願いします。



安芸太田町の魅力

① 国内外で評価を受ける自然資源が多い町

フランス「ブルーガイド」3つ星評価の『三段峡』、アメリカCNN「日本の最も美しい場所 31選」に選ばれた『井仁棚田』をはじめ、「美しい日本の村百選」や「日本秘境百選」などに選出された場所が町内に多数点在している。

② 広島一人情深く、町民が元気な町

町内には、30以上のお寺、15の神楽団があり、老若男女町民が一丸となって地域で守っている。自治会運営や地域行事の中心を60～70代が担うことも少なくなく、高齢者も元気に活躍している。

③ 日本生産量第1位の柿がとれる町

全国生産量第1位の『祇園坊柿』という渋柿があり、それを使ったお土産「干し柿」・「チョコちゃん」（干し柿にチョコをコーティングしたもの）は大人気

安芸太田町の課題

① 過疎高齢化がすすむ町

人口5,387名（令和6年12月現在）、高齢化率52.87%で県内ワースト1位（令和6年12月現在）と過疎高齢化が大きな課題となっている。令和5年12月の調査では人口減少率54.9%と県内最大。

② 商店の衰退する町

人口減少による利用者減少および後継者不足に伴い、町内飲食店や商店（スーパーなど）の営業時間短縮、閉店が相次いでいる。また、経済的域内循環率が低く、町内事業者の収入の多くが域外へ流出している。

③ 人手不足を抱える町

「祇園坊柿」は町の特産品であるにも関わらず、生産者の高齢化が進み、人手不足となっている。同様に、田畑や山林も所有者の高齢化により耕作放棄地や放置林が拡大傾向にある。

森林資源再生プログラム ～森林資源再生について考える～



●体験プログラムのねらい●

安芸太田町は町面積の90%が森林で占め、古くは山林の資源を生かした暮らしが地域を支えていた。日本の林業の衰退と過疎・高齢化の影響による担い手不足により山林等の整備が不十分となり、森林が保全できていない。森林の持つ水源涵養、災害防止、環境保全機能の維持のためにも森林保全が重要である。フィールドワークをしながら森林の保水機能実験、間伐、枝打ち、植樹などの作業を行い、森林資源再生の必要性と方策を探究する。

●体験プログラムの教育効果●

【森の役割を理解し、気候変動への対策を考える】

森は地球温暖化の原因物質である二酸化炭素を吸収する役割を果たしている。森林保全の作業を通じて自然を大切にすることを養うとともに、森林の役割について理解を深め、気候変動への対策を考える契機とする。

【森と海の繋がりを理解し、その営みを守る方策を考える】

森の有機物は川から海へ流れ出し、プランクトンの発生を促して海の生態系を支えており、安芸太田町を流れる太田川は瀬戸内海に流れ込み、広島特産の牡蠣など豊かな魚介類を育てている。海の栄養分を生み出す森の力を保全する活動を通し、こうした自然の営みを理解して、その営みを守る方策を考える。

【森林再生の方策を検討し議論する】

日本の国土の3分の2が森林に覆われており、森は生物の生存に不可欠な水を蓄え、酸素を生み出し、生態系を維持する役割を果たしている。森林を守る意味や重要性を学び、森林再生の方策を検討する。

事前学習

事前配布資料から、山間地域での現状と課題を学ぶ。

現地調査 体験

時間	内容
9:30	町内山間部 到着～トシ・整列
9:40～9:55	全体説明（15分）（オリエンテーション・注意事項・体操など）
10:00～11:40	現地体験・実態調査（100分） ※注意報・警報発令時は町内施設でのグループワーク
11:50～12:20	振り返り（グループワーク）・発表・感謝状贈呈（30分）
12:30	バス乗車～安芸太田町 出発

事後学習

体験・実態調査の結果をまとめて、安芸太田町へ報告（発表）してもらおう。その結果に対して当町からも生徒へフィードバックする。

- 体験人数● 最大40名
- 体験会場● 町内山間部（フィールドワーク）
町内施設（グループワーク）
- 所要時間● 3時間程度
- 実施期間● 4～11月（雨天決行）
※警報等の場合は室内でグループワーク
- 服装● ヘルメット・長袖・長ズボン
汚れてもよい履きなれた靴・カッパ（雨天用）



三段峡魅力探求プログラム ～自然とのかかわりを体感する～



●体験プログラムのねらい●

三段峡は安芸太田町を代表する観光地だが観光客数はピーク時の3割程度まで減少している。観光客をピーク時に戻そうと三段峡リボーン（新生）プロジェクトが始動した。高齢化による人材・財源不足の為、植生など峡内の情報収集が進まず、また、新しい視点からの魅力発掘が困難であるという課題を抱えている。三段峡でのフィールドワークを通して課題解決に協力して頂くとともに、三段峡の効果的な魅力発信方法や体験プログラムを提案する。

●体験プログラムの教育効果●

【心と体の健康増進を図る】

三段峡の豊かな自然や水を五感で体感することにより自然の奥深さを知り、自然に感謝する心を養うとともに、心と体の健康の増進を図る。

【安全な水の大切さを学び理解する】

三段峡を上流とする太田川の水は水道用水として広島市を始め近隣市町に供給されている。三段峡の水の清らかさを体感するとともに、維持していくための取組を学び、安全な水のありがたさと水を守ることの大切さを理解する。

【課題を整理し、貴重な資源を未来に残す方策を考える】

三段峡には貴重な動植物が生息して人間と共生してきた歴史がある一方で、環境の変化によって動植物や人間の営みが脅かされることを知り、今後の観光と環境、動植物愛護のあり方について考える。

●体験人数● 最大80名

●体験会場● 三段峡（フィールドワーク）
町内施設（グループワーク）

●所要時間● 3時間程度

●実施期間● 4～11月（雨天決行）
※警報等の場合は室内でグループワーク

●服装● 長袖長ズボン・汚れてもよい履きなれた靴
カッパ（雨天用）

●配布資料● 三段峡パンフレット等

事前学習		事前配布資料から、興味を持った点について事前調査および現地で調査したい事をまとめる。	
現地調査 体験	時間	内容	
	0:00	三段峡 到着～トイレ・整列	
	0:10～0:25	全体説明（15分）（オリエンテーション・注意事項・体操など）	
	0:30～2:10	三段峡内 調査・観察（100分） ※注意報・警報発令時は町内施設でのグループワーク 例）三段峡や安芸太田町の歴史に関するプレゼン、図書館資料などを活用した疑似的な三段フィールドワークをガイドと共に行う予定	
	2:20～2:50	振り返り（グループワーク）・発表・感謝状贈呈（30分）	
	3:00	バス乗車～三段峡 出発	
事後学習		調査・観察結果をまとめて、安芸太田町へ報告（発表）してもらおう。その結果に対して当町からも生徒へフィードバックする。	

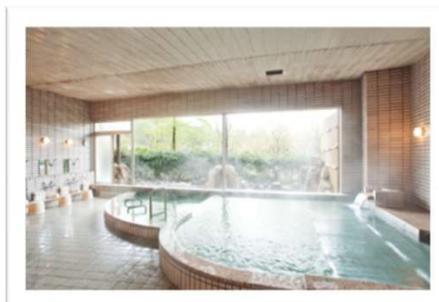
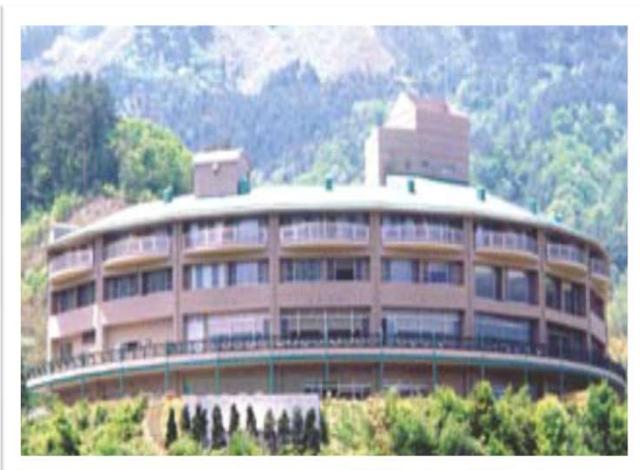


宿泊施設（1）

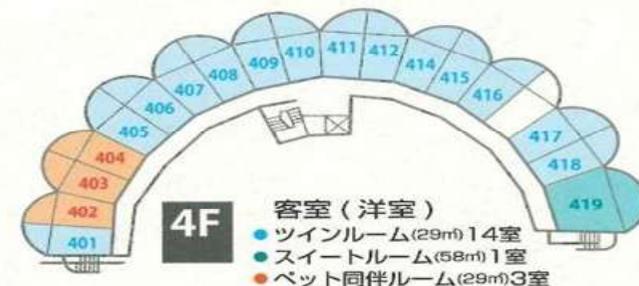
※ 令和6年12月現在

グローバルリゾートNUKUI

住所	〒731-3501 広島県山県郡安芸太田町加計4629-7
電話番号/FAX	TEL：0826-22-2260
宿泊人数	最大80名 3階13部屋（8畳7部屋、10畳1部屋、DX10畳2部屋） 4階18部屋（ツイン11部屋、スイート1部屋、ペット同伴3部屋）
お風呂	大浴場（同時入浴 男性：約10名可 女性：約10名可）
アクセス	加計スマートICから約20分 戸河内ICから約30分
備考	



本館 各フロアのご案内



宿泊施設 (3)

※ 令和6年12月現在

グリーンスパつつが

住所	〒731-3702 広島県山県郡安芸太田町中筒賀280
電話番号/FAX	TEL : 0826-32-2880 / FAX : 0826-32-2883
宿泊人数	10部屋 (1階和室5部屋、2階和室5部屋) 最大40名
お風呂	天然温泉 (男性 : 20名、女性20名)
アクセス	戸河内ICから約5分
備考	民泊時は引率団の本部宿舎として利用されています。

